

## 目次

第15講	論説・評論(15)―日本語②	日本語の性格	58
第14講	論説・評論(14)―日本語①	日本語と外国語	54
第13講	論説・評論(13)―日本文化⑤	日本の風景	50
第12講	論説・評論(12)―日本文化④	日本人と日本文化	46
第11講	論説・評論(11)―日本文化③	日本人論	42
第10講	論説・評論(10)―日本文化②	日本の近代化	38
第9講	論説・評論(9)―日本文化①	日本文化	34
第8講	論説・評論(8)―近代批評⑧	自我とは何か	30
第7講	論説・評論(7)―近代批評⑦	人生論	26
第6講	論説・評論(6)―近代批評⑥	身体論	22
第5講	論説・評論(5)―近代批評⑤	古典解釈	18
第4講	論説・評論(4)―近代批評④	文芸評論	14
第3講	論説・評論(3)―近代批評③	芸術論	10
第2講	論説・評論(2)―近代批評②	言語論	6
第1講	論説・評論(1)―近代批評①	科学論	2
第30講	詩・短歌・俳句(2)―短歌・俳句	入試問題演習	118
第29講	詩・短歌・俳句(1)―詩		114
第28講	小説(4)―現代の文学②		110
第27講	小説(3)―現代の文学①		106
第26講	小説(2)―昭和の文学		102
第25講	小説(1)―明治〜大正の文学		98
第24講	随想・随筆(4)―現代の文学②		94
第23講	随想・随筆(3)―現代の文学①		90
第22講	随想・随筆(2)―明治〜昭和の文学②		86
第21講	随想・随筆(1)―明治〜昭和の文学①		82
第20講	論説・評論(20)―現代状況③	メディアと情報	78
第19講	論説・評論(19)―現代状況②	子どもの生活	74
第18講	論説・評論(18)―現代状況①	現代の倫理観	70
第17講	論説・評論(17)―日本語④	日本語の現在	66
第16講	論説・評論(16)―日本語③	日本語の語法	62



演習問題 A

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(池内了「物理学と神」による)

(注) 七つの星：太陽、月、火星、水星、木星、金星、土星を指す。スコラ哲学：中世ヨーロッパで教会・修道院付属の学校や大学を中心として形成された神学・哲学の総称。

問一 A に入る最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 最小コストで最大利益がもたらされる理論
- イ 高次構造を低次元の要素に分解する理論
- ウ 既存理論に最低限の修正がほどこされた理論
- エ 複数の思想にも応用できる普遍理論
- オ 最小の仮定で最大の結果が得られる理論

問二 線①「神の居場所を……地球は動かない」の意味として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 神の宇宙創造の拠点は地球である。
- イ 絶対権力によって宇宙の安定は守られている。
- ウ 宗教は宇宙の科学の低位にある。
- エ 万能神が統括する宇宙の範囲は無限である。
- オ 最も権威を持つものが宇宙の中心にある。

問三 B に入る最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 改革派の寛容を示そうとした
- イ 攻撃から身をかわそうとした
- ウ 科学を相対化しようとした
- エ 教会の権威の前に屈した
- オ 二つの宗派の共存を試みた

問四 線②「ケチな」の意味として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 欲の深い
- イ 貧乏な
- ウ 厚かましい
- エ 野心のない
- オ 不景気な

問五 C に入る最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 不変なもの
- イ 変化するもの
- ウ 過酷なもの
- エ 自律的なもの
- オ 反応しないもの

問六 コペルニクスとガリレイの自然研究について、本文の内容と合致しないものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア ガリレイは、肉眼の観察と望遠鏡技術を使って自然を研究した。
- イ コペルニクスは、宇宙の説明は幾何学と無関係という態度をとった。
- ウ ガリレイは、自然の客観的説明は聖書の記述に縛られたいと説いた。
- エ ガリレイは、自然界の研究と神への信仰は共存すると考えた。
- オ コペルニクスは、自らの研究成果と教会の権威との明確な対峙を避けた。

問七 神の存在と宇宙観について、本文の内容と合致するものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア コペルニクスの時代の宇宙とは太陽系を意味し、創造神は太陽に居ると信じられていた。
- イ ローマ教会は、神の居る天が動くとする天動説以外の宇宙観は神の教えに反すると断定した。
- ウ 惑星運動の観測で神の権威は拡大され、天動説への支持が強まった。
- エ 太陽系外に広がる宇宙を発見することで、初めて地動説が提唱された。
- オ 自然観察のデータをふまえると、聖書の記述と一致する天動説より地動説の方が単純である。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(寺田寅彦「科学者とあたま」による)

60

65

70

75

80

85

問一

□に入る最も適当な語を、次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同じ語を二度以上用いてはならない。

ア しかし イ もしも ウ すなわち エ そうして

A 「 」 B 「 」 C 「 」

問二

——線①の理由として本文の内容に合致しないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 前途のたくさんさんの難関に気づかないので、前進する勇気を失うこともないから。

イ はじめからだめな試みをあえてしないので、だめでない他のものを得られるから。

ウ のみ込みが悪いために、ながめるだけですまらずに実際に確かめられるから。

エ ゆっくりとしか進めないために、先に通った人が見落としたものを見つけることもあるから。

問三

——線②の例として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア えらい人の仕事でも自分にもできそうな気がする。

イ 思いついた事が結局重要なものになりそうもないと考える。

ウ 他人の仕事のあらが目につきやすく、他人のすることが愚かに見える。

エ 自分の頭で考えたことより自然の方が間違っているかのように考える。

問四

□に入る最も適当な語を、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 内省 イ 直観 ウ 行為 エ 思案

エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 正確で緻密な頭脳と直観力を持たない科学者は、科学の正常な進歩をしばしば阻害する。

イ 百の間違いをして一つ二つの真を見つける人は、科学に貢献している。

ウ 自然の真ん中へ赤裸で飛び込める人こそがよい科学教育者になれる。

エ 科学の歴史は、予想される危険や失敗を避けて進んだ人々が築いたものである。